

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-24 □支援部門 樹林維持管理事業										
主管課	公園課	関連課									
分野名	みどり										
目標 (目標値)	樹林を適正に管理することにより、緑豊かな都市づくりを目指す。										
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考						
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯							
	事業の対象者数										
運営資源 状 況	決算値(千円)	13,934	15,649	15,971							
	(国・県)										
	(負担金等)										
	(一般財源)	13,934	15,649	15,971							
	人員配置数	0.7	0.7	1.2							
	人件費(千円)	6,086	5,961	10,843							
	協働の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	20,020	21,610	26,814							
	市民1人当 りの経費(円)	113	122	152							
	対象者1人 当りの経費(円)										
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒										
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)				
		目標値									
◎目標を達成 ○目標に向かって前進		実績値									

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
樹林維持管理事業	13,934千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A	□B	□C □D □E
	事業の概要	古都保存法等の指定を受けている山林所有者の管理に対する負担の軽減を図る。				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	申請により事業を実施しているため、申請件数によっては、全てに対応できない場合が起こりうる。
課題解決のための取組	できるかぎり申請者と現地で立会い、優先順位を付けて要望を受け実施した。
未解決の課題	通知が宛先不明で返送されるものがあり、実施できない場所がある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切＝○ 要改善＝△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		※□事業完了
		②妥当性	○			課長等名	
		③有効性	○				
		④公平性	○				
		樹林地の機能を充実できるような維持管理に努める。			A	公園課担当課長 石山 由夫	

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
樹林維持管理事業	776	樹林維持管理事業	15,200	13,934	■適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり